

首都圏新都市鉄道株式会社

代表取締役社長 柚木浩一様

東京駅延伸等に係る要望書

つくば市

つくばみらい市

守谷市

流山市

三郷市

八潮市

荒川区

柏市

つくばエクスプレスにつきましては、開業以来、毎年、利用客数は増加を続け、当初計画を上回る実績を上げていることは、貴社の安全運行と利便性向上に対する多大な努力の賜物とお礼申し上げます。

また、平成28年度に貴社より発表のありました、ダイヤ改正並びに車両増備計画等につきましては、鉄道利便性の向上と輸送力の増強につながるものであることから、大変喜ばしく思っており、貴社のご尽力に重ねてお礼申し上げます。

沿線自治体としましても、昨年4月に交通政策審議会から国土交通大臣に対し、つくばエクスプレスの東京駅延伸を「国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト」と位置づける答申が提出されたことも踏まえ、今後更に沿線整備を進め、人々に選ばれるまちづくりを推進し、鉄道利用者の増加に寄与するために鋭意努力してまいります。

つきましては、今後の貴社ならびに沿線自治体の持続的発展と、自律した株式会社である貴社の経営安定化と企業価値向上のため、次の3点を要望いたしますので、貴社の見解等につきまして書面にてご教示いただけますようお願い申し上げます。

「東京駅延伸」につきましては、平成18年以来12回にわたり貴社への要望を継続してまいりましたところ、平成28年度に貴社が需要予測調査に着手したと伺いました。答申では、「関係地方公共団体・鉄道事業者等において、事業計画の十分な検討が行われることを期待」と記載されていることから、沿線自治体としては、貴社と一体となって具体的な事業費や需要予測、費用便益等の調査を行うべく、関係者間の合意形成に努めてまいります。

貴社におかれましても、昨年実施した需要予測調査の結果を早期に沿線自治体と情報共有していただけますよう強く要望します。

また、「車両編成の8両化」につきましては、沿線整備の進展に伴い、駅利用圏内の居住人口ならびに鉄道利用者数が年々増加し、利用者から混雑緩和を望む声が寄せられていることから、現在貴社が計画中の車両増備、一部車両のロングシート化に続くさらなる輸送力増強策として、検討を要する課題であると考えております。

貴社におかれましては、8両化に伴う車両や施設への投資額等の試算を行うとともに、今後も継続して貴社と沿線自治体間で意見交換等を行う場を設けていただけますようお願いいたします。

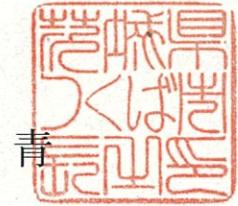
さらに、「通学定期乗車券の運賃引き下げ」につきましては、これまでの貴社の多大なる経営努力により、つくばエクスプレスの1日平均乗車人員は貴社「中期経営見通し」の見込みを大幅に上回り、経営状況も経常黒字が継続し累積損失が順調に縮小しておりますが、一方で利用者からは、他社に比べて運賃が割高である、競合路線であるJRと比べて定期乗車券の割引率が低いといった意見が寄せられております。特に通学定期は、中学生・高校生・大学生とも同一料金で、割引率も他社と比べて低いため、沿線には子育て世代の居住者も多い地域もあることから、運賃負担が重荷になっているとの声もあります。

今後もつくばエクスプレスが、幅広く利用されるアクセス手段として選ばれ続けるために、通学定期乗車券の運賃引き下げを要望いたします。

平成29年6月27日

つくば市長

五十嵐 立



つくばみらい市長

片庭 正



守谷市長

松丸 修



流山市長

井崎 義



三郷市長

木津 雅



八潮市長

大山



荒川区長

西川 太一郎



柏市長

秋山 浩

